

子どもが輝く鹿児島

これからの鹿児島の発展を担う子どもたち。そんな子どもたちが未来に夢と希望を持ち、安心してたくましく、心豊かに成長できる社会をつくるために、県ではさまざまな取り組みを行っています。

今回は、未来を担う子どもたちがいきいきと輝ける鹿児島を実現するための教育や頑張っている子どもたちの姿をご紹介します。



未来を担う鹿児島の子どもを育む

情報活用能力を育む

急速な情報化が進む中、「情報活用能力」は、子どもたちがこれからの時代を生きていく上で必要不可欠な力といえます。

国は、全国の義務教育課程の子どもたちに一人一台の端末と、学校における高速大容量のネットワーク環境を整備する「GIGAスクール構想」を推し進めています。県内でも本年4月からほぼ全ての公立小・中・義務教育学校で、「二人一台端末」を活用した「新たな学び」が始まります。

この構想の実現により、学校におけるこれまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、よりよい教育環境の整備を目指していきます。



AI教材を活用した授業
(出水市立米ノ津中学校)



1人1台端末を活用した授業
(徳之島町立母間小学校)



令和三年 ○月○日○曜日 日直○○○○

GIGAスクール構想の実現…

これからの時代を生きる子どもたちに求められる力

情報活用能力

言語能力等と同じように
これからの時代を生きていく上で
基盤となる資質・能力

学校のICT環境整備

ICTを活用した学習活動の充実

国・自治体がハード・ソフトの両面から整備

鹿児島県では…

県内の公立小・中・義務教育学校において、令和二年度中におおむね一人一台の端末整備ができる見込み
どのように授業が変わるの？

◎動画を視聴して学習したり、見つけたものをカメラ機能を使って写真に撮ったりすることができる！

◎アプリを使って自分の考えと友達の考えを比べたり、まとめたりすることができる！

◎学習コンテンツを使って、自分のペースで問題に取り組んだり、自宅で授業の続きの学習に取り組んだりすることができる！

◎遠方の学校の友達とテレビ会議システムを使って一緒に学習できる！

多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適な学びの機会を確保し、子どもたちの資質・能力を一層確実に育成できる教育環境を整えていきます！

地域を知り、郷土愛を育む

県教育委員会では、より多くの地域住民や団体などの参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して地域と学校が相互に連携・協働して行う「かこしま地域学校協働活動」を推進しています。

その活動の一つとして、伝統芸能保存会やPTAなどと連携を図り、地域と学校が一体となって、計画的・継続的に伝統芸能を継承する取り組みがあります。

このような取り組みは、地域住民と子どもたちとのふれあいを深め、地域の良さを伝えることで、郷土愛を育み、将来の地域を支える人材育成にもつながっています。

かのや学校応援団 串良地域学校支援活動

(令和元年度「地域学校協働活動推進に係る文部科学大臣表彰受賞」)



伝統芸能「棒踊り」の様子

子ども会や町内会、伝統芸能保存会などの地域の方々を中心となって、子どもたちに伝統芸能を指導する活動などが行われています。

子育て支援の取り組み

子ども医療費の 窓口負担無料の 対象が広がります



子ども医療費の窓口負担を無料化する制度の対象者は、現在、住民税非課税世帯の未就学児となっていますが、令和3年4月から、住民税非課税世帯の高校生まで拡充します。

今後も子育て世帯にとって住みやすく、産み育てやすい鹿児島をつくるため、取り組んでいきます。

子ども医療費の窓口負担無料って どんな制度?

1. 県内にお住まいの住民税非課税世帯の小学生・中学生・高校生が新たに対象に。
2. 対象となる医療費は、保険が適用となる入院(食事の費用は除く)、通院(歯科を含む)、お薬、訪問看護などの費用。
※保険が適用されない費用や任意の予防接種費用などは対象外
3. 窓口負担無料となるには、お住まいの市町村から受給者証の交付を受け、医療機関等の窓口で提示することが必要。

※医療機関等の窓口で受給者証の提示がない場合や、県外の医療機関等を受診した場合は対象になりません。いったん窓口で自己負担額を支払い、領収証等をお住まいの市町村に提出することで、払い戻しが受けられます。

給付を受けるための手続きなどの詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

問い合わせ先

県庁子ども家庭課 TEL:099-286-2763

congratulations



地道な環境美化のへ努力が 実を結ぶ!

鹿児島市立西伊敷小学校の児童の皆さん
〈第21回環境美化教育優良校等表彰事業 最優秀校
(文部科学大臣賞受賞)〉

独自の環境美化教育で地域の環境美化に大きく貢献している小中学校を選出し表彰する「環境美化教育優良校等表彰事業」で今年度、全国31校の中から最優秀校4校に選ばれた鹿児島市立西伊敷小学校。同校は、児童会主導で取り組んできたアルミ缶などの資源回収、回収活動で得た収益金を活用して卒業生のランドセルをアフガニスタンの子どもに贈るプロジェクトや通学路の清掃活動など、さまざまな取り組みを長年にわたり行ってきたことが評価されました。

同校の美化・環境委員会担当の田中教諭は「児童たちは入学以来、日常的に環境美化に関する活動を行ってきており、日々の学校生活の中で自然にその意識が育まれている」と言います。美化・環境委員会長の末吉果斗さん(6年)は、「伝統としてずっと続いてきたことが認められてうれしいです。後輩たちにはこのような活動が地球にとって大切であることを伝えていってほしいです」と誇らしげに話してくれました。

コロナ禍においても、それぞれ工夫し努力を重ね、成果を上げている子どもたちがいます。

ここでは、今年度、各分野で優秀な成績を収めた県内の子どもたちを紹介します。

全国の農業高校で育てた和牛の肥育に関する取り組みとその肉質を競い合う「和牛甲子園」で、今年度、参加した全国19県の33校から県立市来農芸高等学校が見事、総合優勝に輝きました。同校の今大会での取り組みのテーマは「健康な牛づくり」。取組評価部門では、尿石症のコントロールや肉のうまみにつながるオレイン酸をエサの調整で増やす取り組みなどが高く評価され、また、その取り組みの成果が枝肉の肉質にもしっかりと表れたことで、枝肉評価部門で

全国の参加者から選ばれた12名の中学生が、「日頃抱いている思いや考えを発表する」「少年の主張全国大会」で今年度、内閣総理大臣賞を受賞した霧島市立横川中学校の池島音羽さん。池島さんは「言葉紡ぐ」と題して、人間関係のトラブルに悩んでいた際に、勇気を出して家族に相談し、相手に自分の気持ちを正直に伝えることで乗り越えた経験を通じて、SNSが発達した情報化社会においても、自分の気持ちを言葉にして伝えることがいかに大切であるかを訴えました。

いきいき輝く鹿児島の子ども



2連覇を果たした「高校牛児」たち!

県立市来農芸高等学校畜産部の生徒の皆さん
〈第4回和牛甲子園 総合評価部門 最優秀賞受賞〉



心揺さぶるスピーチで最高賞受賞!

霧島市立横川中学校3年 池島 音羽さん
〈第42回少年の主張全国大会 内閣総理大臣賞受賞〉